



Now, FM to FS.



世界のシンセサイザーファンが待望した劇的な革新である。
究極の進化を遂げた次世代FMシンセシス<FS音源>誕生。

あの<DX7>の誕生から15年。いまだに世界中のアーティストの創造力を刺激してやまないFM音源が、究極の進化を遂げた。その名はFS音源。<オペレータ+アルゴリズム>というFM音源のフレームワークを継承・発展した上で、楽器や人間の声が固有に持っているフォルマントの要素を世界で初めて本格的に応用。PCM系やモデリング系音源とは明らかに一線を画すサウンドを限りないスケールで創造する、次世代シンセサイザエンジンである。これはFSであって、FMではない。新たなサウンドを狙い、新たな音楽表現を求めるプレイヤー&クリエイターよ。体験せよ、“進化したFM音源”のポテンシャルを!

<FM + フォルマント> による、まったく新しい音づくり。 シンセサイズの可能性を限りなく広げるFS音源モジュール。



新開発の<FS音源>を搭載

FS音源(Formant Shaping / FM Synthesis)は、FM音源の<オペレータ + アルゴリズム>のフレームワークをベースにした上で、楽器や人間の声などすべての音色が固有に持っているフォルマントの諸要素を音源パラメーターとして採用しました。これにより、FM変調で生みだされる複雑な倍音やノイズ成分と、音色を決定づけるフォルマント成分を自由に合成しながら、これまでにないリアルサウンドから独特なクセを持つニューサウンドまで幅広く創造可能。"ゼロからの音づくり"が楽しめる、シンセファン待望の新音源です。

DX上位互換のFMサウンドもカバー

FS音源はDXシリーズ上位互換のFM音源としても使用可能。DXシリーズのボイスデータ / 一部のアディショナルデータもバルク転送で読み込めます。しかも8オペレータ・88アルゴリズムに拡張されたため、DXシリーズでは得られなかったより複雑な倍音やノイズ成分も生成。さらにフォルマント成分を加えるなど、FS音源ならではのアプローチで、DXサウンドを大胆にリメイクすることもOK。

豊富なフォルマントコントロール機能

新機能のFSEQ Formant Sequence)

をはじめ、LFOやピッチEG、オペレータごとのフリケンシーEG、さらにペロシティ / ホイールなど外部機器のコントローラーを使い、フォルマント成分を自由にコントロール可能。斬新で複雑なサウンド表現を追求できます。新機能のFSEQとは、ある時間的な長さを持つ現実音からフォルマント成分だけを分析・抽出したデータで、FS1Rには90種のFSEQデータをプリセット。このデータを使うことで、フォルマントの中心周波数やレベルなどを時間軸上で多様に変えることができ、人間が喋っているような効果やドラマパターンのようなシーケンスの効果が簡単に作れます。FSEQデータの再生スピードや再生箇所、ループ / リバース再生なども任意に設定でき、無限に近い音色バリエーションを創造可能。さらにリボンコントローラーなどでFSEQを再生して過激なスクラッチ効果を狙ったり、外部MIDIクロックと同期させて、シーケンサーの演奏に合わせてフォルマントの変化をプログラムすることも可能です。

超多彩なプリセット音色を内蔵

FS1Rでは常にパフォーマンスモードで演奏。表現力の豊かな384種のプリセットパフォーマンスを内蔵し、FS音源な

らではのハイクオリティサウンドですぐに演奏が楽しめます。また、内蔵のボイスを最大4個まで組み合わせ、オリジナルのパフォーマンスを作成可能。FS音源の魅力を最大限に活かした256ボイスとDXシリーズ互換の1152ボイスをあらかじめプリセットし、オリジナルボイスも128種まで記憶可能です。なおパフォーマンスの組み方次第では、FS1Rを最大4パートのマルチ音源として使用することもできます。

音色のセレクトもスムーズ

プリセット384パフォーマンスを3バンク(各128パフォーマンス)に分け、バンクAにFS音源特有の最先端の音色、バンクBに最新のFM音色、バンクCにギターMIDIシステム用の音色を収録。また同じカテゴリーの音色を次々と呼びだせるカテゴリーサーチ機能も用意。目的に合った音色がスムーズに探せます。

リアルタイムコントロールも自在

4個のサウンドコントロールノブを搭載し、アタック / リリース / フォルマント / FM変調量など多彩なパラメーターをコントロール可能。2種のモードを切り換えることで8個分のノブとして使えます。ノブはエディット時にはデータ入力に使用可能。ノブ情報のMIDI出力もでき、

外部機器のコントロールにも活躍。

強力なエフェクト&フィルター

リバーブ / パリエーション / インサージョン / コライザーの4系統エフェクトを同時使用し、緻密なエフェクトワークを実現。また専用DSPチップを用いた最強のダイナミックフィルターを搭載し、エッジのきいた音づくりを強力に支援。内蔵LFOでフィルターに変調をかけることもできます。

多彩なMIDIコントロールに対応

外部MIDIメッセージによる音色コントロールも実現。14種のコントロールソースごとに最大8個のパラメーターをアサインでき、自由度の高いMIDIコントロールが楽しめます。

2系統のインディビジュアルアウト

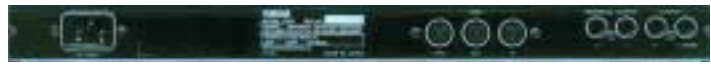
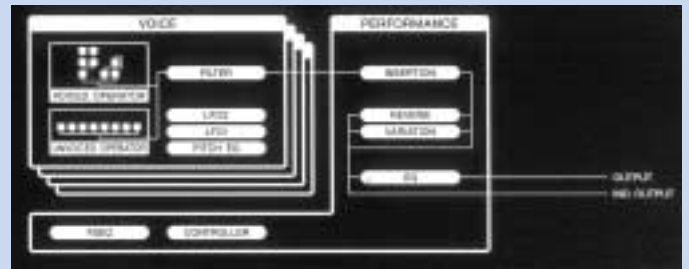
任意のボイスを出力できるインディビジュアルアウトを2系統装備。エフェクトをかけないボイスやインサージョンエフェクトのみをかけたボイスを独立に取り出すことができます。

ギター/ベースMIDIシステムにも最適

ギターMIDIシステム<G1D + G50> / ベースMIDIシステム<B1D + G50>にも最適。G1D + G50 / B1D + G50ですぐ演奏できる128パフォーマンスも内蔵しました。

FS音源の構造

FS音源は、8オペレータ・88アルゴリズムのVOICED音源部と、8オペレータ・アルゴリズム固定のUNVOICED音源部で構成。楽器音では、VOICED音源部で音階を奏でる楽音を、UNVOICED音源部で音階とは関係のないノイズを、人声では、VOICED音源部で声帯の開閉による音程変化(母音)を、UNVOICED音源部で舌や唇の動きで作られるノイズ(子音)を、それぞれ各オペレータでフォルマント波形を発生して作ることができます。通常、楽器や人声は3~5個のフォルマントで認識できますが、FS音源では最大16個のフォルマント(16オペレータ)を使えるため幅広い音づくりを実現。異なるフォルマント波形を組み合わせで「男声 + 女声コーラス」を作ったり、バイオリンの音を楽音と擦弦ノイズで合成するなど多彩なアプローチが可能です。オペレータの波形にはFM音源のサイン波やレゾナンス波形も用意。「FM + フォルマント」の合成音やアナログシンセ音も手軽に作れます。なおバルク受信したDXシリーズの音色データはVOICED音源部に展開されます。



FS1R仕様 音源方式:Formant Shaping / FM Synthesis 最大同時発音数:32音 演奏パート数:4パート(16MIDIチャンネル) 演奏モード:パフォーマンスモード(最大4パート) 音色メモリー:プリセット384パフォーマンス + インターナル128パフォーマンス、プリセット1408ボイス + インターナル128ボイス Fseqメモリー:プ

リセット90タイプ エフェクト:リバーブ×16 / パリエーション×28 / インサージョン×40 / 3バンドコライザーコントロールノブ×4個 ディスプレイ:カスタムLCD(バックライト付) 接続端子:ステレオアウト(L/MONO, R)、インディビジュアルアウト(L, R)、ヘッドフォン、MIDI IN-OUT-THRU 寸法・重量:480W×44H×235Dmm・2.6kg 付属品:電源コード
FS1Rは右記モデルのボイスデータをバルク受信できます。DX7 / DX7 / DX7S / TX7 / TX802。なお、各パラメーターは、聴感上の音が最適になるように自動的に変換されます。

デジタルインフォメーションセンター TEL.053(460)1666
デジタル楽器に関するお問合せを電話で受け付けています。機能や操作のこと、初歩的な疑問から高度な質問まで、お気軽にどうぞ。(月~金 / 10:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00)

音楽を楽しむエチケット
楽しい音楽も時と場合によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけてしまうことががちです。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

YAMAHA

XGホームページ <http://www.yamaha.co.jp/xg/>

ご使用前に、取扱説明書に記載されている安全や取扱いに関する注意事項をよくお読みください。

ヤマハ株式会社

EM北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50(ヤマハセンター)	☎ 011(512)6113
EM仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	☎ 022(222)6147
EM東京事業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	☎ 03(5488)5476
EM関東営業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	☎ 03(5488)5447
EM名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	☎ 052(201)5199
EM大阪事業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9(心齋橋プラザビル東館)	☎ 06(252)5231
EM広島営業所	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18	☎ 082(244)3749
EM九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	☎ 092(472)2130

ヤマハ株式会社
電子楽器事業部 営業部 国内営業第3グループ
〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1
☎ 053(460)2432
1998年9月作成
カタログコードLFS-809